

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9
ロシア東欧経済研究所 購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

1996年(平成8年)10月5日 No.1036

目次

5年間のモスクワ勤務を終えて	池田正弘 1
キーパーソン	8
アルメニアのペトロシヤン大統領、疑惑の再選	
エストニアでメリ大統領が再選	
新任のパノフ駐日ロシア大使の経歴	
ロシア国有資産委の議長にコフ氏	
アムール州知事選で波乱	
統計速報(1996年1~7月のロシアの経済実績ほか)	9
CIS諸国通貨の最新為替レート	10

5年間のモスクワ勤務を終えて

はじめに 筆者は、当会モスクワ事務所長としての5年間のモスクワ勤務を終え、このほど帰任した。私がモスクワに赴任したのは1991年9月。あの8月のクーデター騒ぎの直後だった。その後ゴルバチョフ退場、ソビエト連邦の崩壊、市場経済への移行、ハイパーインフレ、議会砲撃事件、民営化、チェチェン紛争、エリツィン再選と続き、ロシアが変革に揺れた5年間を過ごすことができた。

しかし、その現場にいた私は、変わりゆくロシアの姿が日本に正確に伝わっていないことに、常にもどかしさを感じていた。偏向したロシア認識が定着してしまい、そのためもあって、日本のロシア市場への進出が立ち遅れてしまったことは、残念と言うほかない。

そこで本稿では、この5年間モスクワですずっと感じていたこと、考えていたことを、率直に述べてみたい。その際に、ロシアの場合には数字が必ずしも真実を語らないと思うのと、数字を交えた分析は多々発表されていることから、あまり数字には触れずに、むしろロシアを見るための基本的な視点を提供することに努めたい。